

第17回まちづくりプラン賞

シンバネットワーク賞受賞

活動報告書

—NPO法人 たいようのえくぼ—

1 活動スケジュールと成果

—2017年—

9月6日

地域子育て交流イベント

『ママズマップ in うらそえ』を開催。

場所：浦添市立森の子児童センター

参加者：親子20人

広報：チラシ配布、えくぼ公式HP

イベントページにて案内



浦添市内に在住する親子を集め、普段利用しているお店や公園、無料で利用できる公共施設、雨の日でも子どもを遊ばすことのできるスポットなどの情報をママ同士で交換し、“協力：シンバネットワーク”の記載が入った浦添市のマップ上に情報を書き込み、マップ作成を行った。

完成したマップは森の子児童センターに常時掲示してもらい、来所した子育てファミリーへの情報発信や、情報を自由に追加していける“子育て交流ツール”として活用してもらっている。

10月～11月

誌面制作会議にて浦添市ないの取材先をピックアップし誌面の制作を行った。

12月15日

『たいようのえくぼ26号』を発行。*添付資料①P1～P4 をご参照ください。

表紙にて「浦添市まちづくりプラン賞 受賞しました!」を掲載。



ー浦添市の3つの特集内容ー

①浦添市内にある子育て世帯におすすめなスポットを紹介 1P～2P

「くるっとドライブ～浦添コース～」にてキッズスペースがあるカフェ、無料で利用できるチョウハウス、アイス作りが体験できるお店、木のおもちゃで遊べるお店、公園、ゲート内フリーマーケット、歴史が学べるようどれ館などを紹介。

②浦添市内の公共施設の紹介 3P

浦添市立図書館、JICA沖縄国際センター、浦添市温水プールまじゅんらんど、浦添市国際交流協会、4つの公共施設のおすすめポイントを紹介。

③ママ's MAP CAFE

口コミを紹介することでママのゆんたくを覗くようなかたちで紹介。 4P

発行部数：25,000部

配布設置箇所：

- ・浦添市内の認可・認可外保育園 56園（各100部ずつ設置）
- ・浦添市内の公立・私立幼稚園 12園（各100部ずつ設置）
- ・沖縄県内 子育て支援センター 102カ所（各30部ずつ設置）
- ・沖縄県内 児童館 71カ所（各30部ずつ設置）
- ・沖縄県内 市町村役場 42カ所（各15部ずつ設置）
- ・沖縄県内 ファミリー・サポート・センター 19カ所（各20部ずつ設置）
- ・沖縄ファミリーマート 318店舗（各25部ずつ設置）
- ・すこやか薬局 36店舗（各15部ずつ設置）
- ・沖縄銀行 65店舗（各15部ずつ設置）
- ・毎号たいようのえくぼを設置している公共施設

やんばるの森おもちゃ美術館、沖縄県立図書館

糸満市観光協会、糸満市NPOセンター、沖縄県助産師会 母子未来センター、ほしぞら公民館、よみたん自然学校、JICA沖縄国際センター、NGOセンター、ネイチャーみらい館、宜野座村松田地区体験交流センター、ブセナ海中公園、など

・その他、えくぼママメンバーの子どもが通う浦添市以外の保育園や幼稚園、誌面サポーターの店舗などに設置。

制作参加人数：

企画・取材・編集：えくぼママ11名

誌面デザイン：デザイナー4名

—2018年—

1月

浦添市特別号作成のスタート。企画・取材・制作を行う。

2月16日

『たいようのえくぼポケット うらそえ版 ー第17回浦添市まちづくりプラン
シンパネットワーク賞 ♡受賞記念号♡ー』を発行。

* 添付資料②にて本体をご参照ください。



ー浦添市の8つの特集内容ー

見開き4ページに渡り浦添市特集は掲載。

浦添市内在住の子育て世帯へは“再発見情報”として、
浦添市外在住の子育て世帯へは“浦添市の魅力的な情報”として、
子育て家庭の生活に役立つ冊子として制作を行う。

①浦添市内にある子育て世帯におすすめなスポット

「ぐるっとドライブー浦添コースー」にて(キッズスペースがあるカフェ、無料で利用できるチョウハウスの、アイス作りが体験できるお店、木のおもちゃで遊べるお店、公園、ゲート内フリーマーケット、歴史が学べるようどれ館など)

②浦添市内の公共施設 浦添市立図書館、JICA沖縄国際センター、浦添市温水プールまじゅんらんど、浦添市国際交流協会、4つの公共施設のおすすめポイントを紹介。

③ママ's MAP CAFE

口コミを紹介することでママのゆんたくを覗くようなかたちで紹介。

④浦添市内の児童センターの紹介

各児童センターに電話取材を行い、未就学児でも参加できる取り組みや、センターで力を入れている取り組みを紹介。

⑤子育て応援団のインタビュー

浦添市 福祉部保育課 課長 仲本力 さんにインタビューを行い浦添市の子育てについて紹介。
保育士の専門的な意見を取り入れた児童館の設備についてや、“キッズファースト宣言”など、浦添市が取り組む子育て世帯の応援内容を話してもらう。

⑥子育てキーパーソンのインタビュー

浦添市立森の子児童センター 館長 大城喜江子さん

取材を行い、定期的に行っているママカフェ、地域行事への参加、自然体験、夜間に勉強が学べる教室などの取り組みや、大城館長の子ども達を大切に思う姿勢を紹介。

浦添市障がい児・者相談支援事業所 ピアサポートセンターほるとコーディネーター 金城理佳さん

取材を行い、自身が障がい児のお子さんを育てた経験を活かし相談員として活動していることや、育児と介護のドキュメンタリー映画の上映を通して伝えたい想いを紹介。

⑦こどもと一緒に伝統芸能～エイサー編～

浦添市内にあるエイサー団体の紹介や、参加の方法、活動期間、参加料金、参加年齢、未就学児の他に、未就学児から参加できるこどもエイサー団体として、“ティータ太鼓うちま”と“ニヌファ太鼓”を紹介。

⑧カーミージーの生き物探検

カーミージーで見られる海の生き物や観察する時の注意点を掲載し、自然を大切にしながら海遊びを楽しんでもらえるような内容を掲載。

発行部数：27000部

配布設置箇所：

- ・浦添市内の認可・認可外保育園 56園（各160部ずつ設置）
- ・浦添市内の公立・私立幼稚園 12園（各160部ずつ設置）
- ・沖縄県内 子育て支援センター 102カ所（各50部ずつ設置）
- ・沖縄県内 児童館 71カ所（各60部ずつ設置）
- ・すこやか薬局 36店舗（各20部ずつ設置）
- ・沖縄銀行 65店舗（各20部ずつ設置）
- ・毎号たいようのえくぼを設置している公共施設

やんばるの森おもちゃ美術館、沖縄県立図書館

糸満市観光協会、糸満市NPOセンター、沖縄県助産師会 母子未来センター、ほしぞら公民館、よみたん自然学校、JICA沖縄国際センター、NGOセンター、ネイチャーみらい館、宜野座村松田地区体験交流センター、プセナ海中公園、など

- ・その他、えくぼママメンバーの子どもが通う浦添市以外の保育園や幼稚園、誌面サポーターの店舗などに設置。

制作参加人数：

企画・取材・編集：えくぼママ11名

誌面デザイン：デザイナー3名

2 今後の活動における課題

これまでも、地域交流イベントである“ママズマップカフェ”の開催や“沖縄の子育てを応援するフリーマガジンたいようのえくぼ”の発行を行い、そのほかにもSNSを使用した子育て情報の発信や企業や行政と連携した子育てイベントを開催し、団体のテーマである「子育てが今よりも楽しくなる」を目指して活動を続けてきました。

今後の課題はこの活動を継続していく組織作りと、事務局メンバーが仕事として自身の子育てと両立しながら運営していける方法、また新しく参加するボランティアママメンバーの一人ひとりの能力が発揮できる活動を行い、全体の取り組みを通して、団体メンバー全員が子育てを楽しめるものを目指します。

ひいては、その子育ての楽しさをエネルギーに、読者や子育て家庭がハッピーになれるような情報の発信や、イベントの開催に繋げていくことができれば、個人的にも社会的にも「子育てが今よりも楽しくなる」好循環が生まれ続けると思います。